

施策番号	1701		
施策名	市民の健康づくり活動の推進		
概要	すべての市民が、生涯を通じて運動、栄養、休養、禁煙、口腔ケアといった心身の健康づくりに取り組むため、行政と保健医療関係機関、地域、企業が連携して環境整備を進める。		
担当局・部室	保健福祉局・保健衛生推進室	共管局・部室	
上位政策	17 保健衛生・医療		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市民健康づくりプラン（第2次）、京都市たばこ対策行動指針（第2次）、京都市口腔保健推進行動計画、新「京（みやこ）・食育推進プラン」、きょういのちほっとプラン—京都市自殺総合対策推進計画—		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		24年度	25年度	26年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1	メタボリックシンドロームの該当者(予備群を含む。)の割合(%)	a	a	24.8	24.7	23.9	96.7%	a	1.00
2	自殺による死亡者数(人)	b	a	259	252	266	105.3%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度回答						
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	評価
1	正しい情報を基に，健康づくりに取り組むひとが増えて いる。	46	220	176	46	24	512	b
		9.0%	43.0%	34.4%	9.0%	4.7%		
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						b

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						25 年度	B	
	重み付け	☐ 客観指標	a	☒ 市民の実感	b				
(重み付けの理由) 健康づくりの推進に当たっては、市民一人一人の意識を高める必要があるため、市民生活実感調査を重視する。								24 年度	B
(原因分析) 【客観指標】●メタボリックシンドロームに該当する市民の割合については、正しい情報を基に健康づくりに取り組み、生活習慣の改善による健康づくりに努めていることから、3年連続a評価と高い評価で安定している。 ●自殺による死亡者数については、全国的に減少している中、本市においても、一定の減少傾向がみられており、a→a評価と高い評価で安定している。社会情勢の影響が大きく関与するものであり、今後も社会情勢に応じた対応が必要になる。 【市民の実感】市民一人一人の健康づくりに対する意識の高まりから昨年度に引き続きb評価と安定した評価となったものと考えられる。									

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		26年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		25年度 決算額	26年度 予算額		
1	保健事業（国保会計）	1,123,545	1,231,066	普通	保健福祉局
2	後期高齢者健康診査	257,500	294,850	良い	保健福祉局
3	はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業	10,798	13,788	悪い	保健福祉局
4	保健所資格職等調査研究推進事業	34,993	35,287	良い	保健福祉局
5	京都市民健康づくりプラン普及及び推進事業	6,414	4,627	良い	保健福祉局
6	難病患者支援事業	70,591	79,522	普通	保健福祉局
7	骨髄提供希望者登録推進事業	3,404	3,465	良い	保健福祉局
8	健康づくりサポート事業	123,075	124,652	普通	保健福祉局
9	生活保護受給者等健康診査	13,454	13,110	良い	保健福祉局
10	がん検診	577,641	663,365	普通	保健福祉局
11	がん管理評価事業補助金	4,675	4,675	かなり良い	保健福祉局
12	高齢者筋力トレーニング普及推進ボランティア養成講座	10,463	10,256	普通	保健福祉局
13	いきいき健康サポート事業	14,506	—	良い	保健福祉局
14	高齢者マシン筋力トレーニング普及推進事業（地域支援事業）	23,600	38,266	普通	保健福祉局
15	地域献血会事業	18,383	17,809	良い	保健福祉局
16	家族介護者向け医療的ケア・口腔ケアの実践研修事業	3,889	4,254	普通	保健福祉局
17	熱中症予防啓発事業	13,301	13,408	良い	保健福祉局
18	栄養改善事業	53,880	53,163	良い	保健福祉局
19	健康診査事業	51,078	52,142	良い	保健福祉局
20	介護予防普及推進事業	15,712	16,042	良い	保健福祉局
21	食育推進事業	53,913	54,825	良い	保健福祉局
22	食育指導員養成事業	21,389	21,312	良い	保健福祉局
23	お口の健康サポート事業	37,201	51,659	普通	保健福祉局
24	医師会・歯科医師会健康づくり事業補助金	17,598	17,908	良い	保健福祉局
25	生涯を通じた歯の健康づくり	54,615	47,567	良い	保健福祉局
26	お風呂屋さん再発見事業	6,770	7,066	良い	保健福祉局
27	鉱泉源保護設備補修等補助金交付事業	16,316	17,964	かなり悪い	保健福祉局
28	環境衛生対策補助金	15,174	15,174	普通	保健福祉局
29	京都市ラクト健康・文化館	13,780	16,329	—	建設局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

●生活習慣病予防をはじめとする健康づくりの推進に当たっては、今後とも引き続き市民意識の向上を図り、無理せず楽しく継続できる仕組みを目指し、運動等の分野における行動指針の策定など、市民の健康増進や生活の質の向上を図る。

施策名	1701	市民の健康づくり活動の推進				
-----	------	---------------	--	--	--	--

指標名	メタボリックシンドロームの該当者（予備群を含む。）の割合（％）					
-----	---------------------------------	--	--	--	--	--

担当課	保健医療課		連絡先	2 2 2－3 4 1 1		
-----	-------	--	-----	---------------	--	--

1 指標の説明

特定保健指導の対象となるメタボリックシンドロームの該当者（予備群を含む。）に該当する市民の割合

2 指標の意味

生活習慣の改善による健康づくりの成果を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：京都市国民健康保険特定健康診査受診者実績から、メタボリックシンドロームの該当者の割合を算出
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	24.8	24.7	0.1ポイント減	23.9	平成24年度目標値達成のために当該年度達成すべき数値	96.7%

	全国順位	中長期目標				備考	25年度数値が確定していないため、24年度値が最新となる。
		数値	目標年次	達成度	根拠		
数値		23.9	24年度	96.7%	京都市民健康づくりプラン中間評価及び見直しに掲げる目標（平成21年度の10%減）		

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：90%以上
b：85%以上～90%未満
c：80%以上～85%未満
d：75%以上～80%未満
e：75%未満

6 基準説明

当該指標については、市民一人ひとりの健康づくりの取組による影響が大きいことから、目標達成度90%以上をa、以下5%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

24	25	26
a	a	a

1 指標の説明

当該年度京都市における自殺による死亡者数

2 指標の意味

市民のこころの健康状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：京都市における年間自殺者数（1月～12月の年間統計値）
出典：厚生労働省人口動態統計

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	259	252	7人減	266	平成28年度に240人以下とするために当該年度達成すべき数値	105.3%

	全国順位	中長期目標				備考	
		数値	目標年次	達成度	根拠		
数値		240以下	28年度	95.0%	京都市自殺総合対策推進計画		

5 評価基準

最新数値が、
a：目標値以下
前回数値と比較して
b：10人以上の減少
c：変わらず（±10人未満の増減）
d：10人以上20人未満の増加
e：20人以上の増加

6 基準説明

当該指標については、様々な社会的要因による影響が大きいため、目標値以下をaとし、以下、前年度との比較で13人刻みで基準を設定した。

7 評価結果

24	25	26
b	a	a